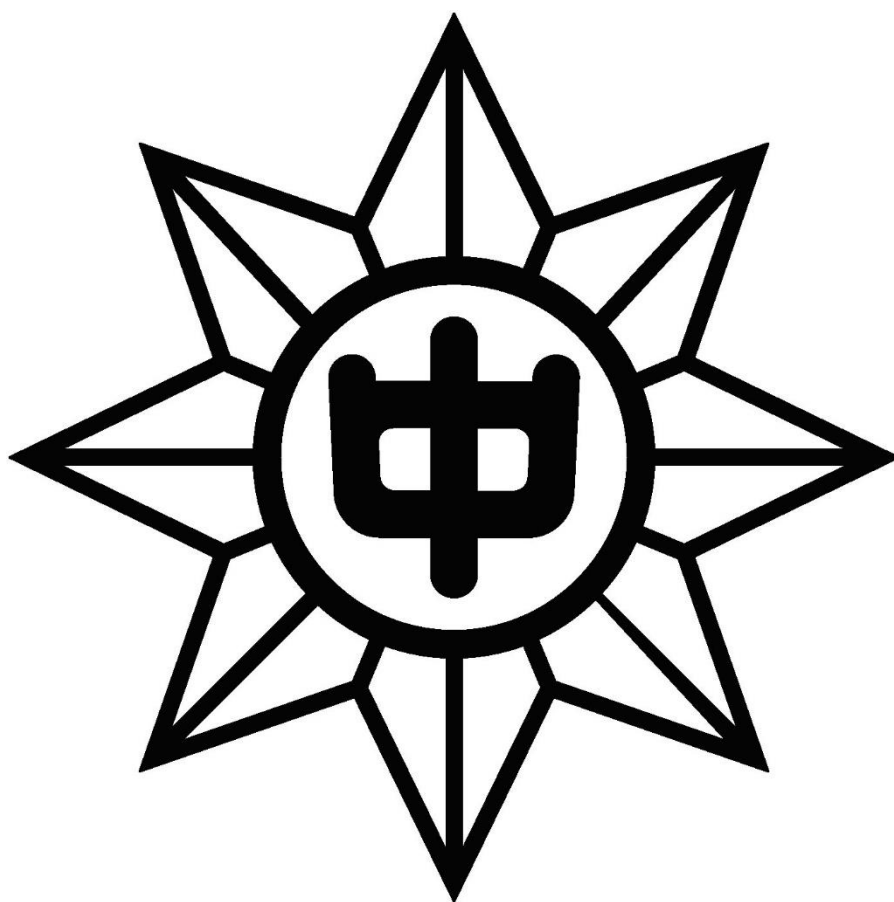


令和 3 年度

「運営に関する計画 最終反省」



大阪市立 八 阪 中学校

令和 4 年 3 月

大阪市立八阪中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

最 終 反 省

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 教育目標は、「人権尊重の精神を基盤とし知・徳・体の調和のとれた教育を実践し、
①希望を持ち、たくましく生きる ②自主的に学び、自律的に行動する ③感謝の心を大切に、自他を尊重する 生徒を育成する
「希望・学び・感謝」を校訓とし、重点目標としては、「豊かな心」「確かな学力」
「健やかな身体」の育成をはかる。
- 全国学力・学習状況調査の標準化得点は、国語A(H26/100.9・H27/100.8・H28/103.3・H29/101.1・H30/97.2) 国語B(H26/100.4・H27/100.9・H28/102.6・H29/102.0・H30/98.0) のところ、国語(R元/110.0)で、数学A(H26/102.8・H27/101.0・H28/105.3・H29/104.5・H30/102.9)、数学B(H26/101.8・H27/101.9・H28/104.6・H29/103.4・H30/104.5) のところ、数学(R元/119.0)で、英語(R元/111.0)と、一定の学力を保っている。「50分間集中した授業」を行うことを中心に、教科指導、生徒指導をきめ細かに行うことで、この状態を保ってということが目標である。
- 「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目についても90%以上が肯定的に回答しており、落ち着いた教育環境で様々な活動に取り組むことができている。
- 新型コロナウイルス感染症の感染予防の影響があり、令和2年度の図書室の利用生徒の延べ人数は1700人、貸出延べ冊数は575冊であった。今後も感染予防対策を取ったうえで、文章を読む習慣をつけさせたい。
- 各普通教室にはプロジェクターを設置し、昨年度より、「ICTを活用した校内公開授業」を全教員が実施した。今後は、お互いに授業を見る機会を作り、事前の取組などを充実させた形で発展させる。
- 生徒会の活動である「あいさつ運動」や「校内清掃活動」への意識は高く、学校全体で前向きに取り組むことができている。元気でさわやかな挨拶ができているので、今後も継続し、高めていく。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 令和6年度の全国学力・学習状況調査や令和5年度末の校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を95%以上にする。
(施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現)
- 令和6年度の全国学力・学習状況調査や令和5年度末の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を80%以上にする。
(施策2 道徳心・社会性の育成)

○令和6年度の全国学力・学習状況調査や令和5年度末の校内アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を75%以上にする。

（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

○令和6年度の全国学力・学習状況調査や令和5年度末の校内アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を50%以上にする。

（施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○令和6年度の全国学力・学習状況調査や令和5年度末の校内アンケートにおける「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を65%以上にする。

（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○令和6年度の全国学力・学習状況調査や令和5年度末の校内アンケートで「授業は分かりやすい」と答える生徒の割合を3学年とも95%以上にする。

（施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）

○令和6年度の全国学力・学習状況調査や令和5年度末の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

○令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。

○令和3年度末の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。

○令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。

○令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

①令和3年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を75%以上にする。（施策2 道徳心・社会性の育成）

- ②令和３年度の校内アンケートで「読書をするのが好きですか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 65%以上にする。

新型コロナウイルス感染症の影響があるので、図書室利用生徒数；2000 人、貸出延べ冊数 600 冊を目標とする。（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

- ③令和３年度の校内アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 50%以上にする。（施策 3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援）

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和３年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 令和３年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
- 令和３年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。
- 令和３年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度（89.0%）より増加させる。
- 令和３年度の体力調査において、前年度と 2 年生同士を比較して、上体おこし、50m 走、特に男子は 20m シャトルラン、女子は長座体前屈の平均の記録を、前年度より向上させる。

学校園の年度目標

- ①令和３年度の校内アンケートにおける「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を 60%以上にする。（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）
- ②令和３年度の校内アンケートで「授業は分かりやすい」と答える生徒の割合を 3 学年とも 85%以上にする。（施策 5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組）
- ③令和３年度の校内アンケートで「ICT を活用した授業に取り組んでいる」と答える生徒の割合を 3 学年とも 80%以上にする。（施策 6 国際社会において生き抜く力の育成）
- ④令和３年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 3 学年とも 70%以上にする。（施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成）

3 本年度の自己評価結果の総括

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについては、100%解消している。教育相談週間も年2回取っている。 → **目標は達成できた。**
- 令和3年度の「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について「当てはまる」と答えた生徒の割合は、97.2%であった。 → **目標(90%)を上回った。**
- 暴力行為を複数回行う加害生徒は、前年度に引き続いていなかった。
→ **目標は達成できた。**
- 令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。
平成30年度；1年、2人 2年、3人 3年、6人 で2.9%
令和元年度；1年、5人 2年、5人 3年、3人 で3.2%
令和2年度；1年、2人 2年、4人 3年、3人 で1.9%
令和3年度；1年、5人 2年、3人 3年、1人 で2.1%
で前年度を少し上回っていた。

学校園の年度目標

- ①「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる」と答えた生徒の割合は、79.8%であった。 → **目標(75%)を上回った。**
- ②「読書をするのが好きですか」の項目について、「当てはまる」と答えた生徒の割合は、68.5%であった。 → **目標(65%)を上回った。**
図書室利用生徒数；644人、貸出延べ冊数；227冊であり、目標の2000人、600冊には届かなかった。新型コロナウイルスの影響は今後も続くと思われるが、図書室に行き、読書をする生徒も少なくないので、引き続き取り組んでいく。
- ③校内アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について、「当てはまる」と答えた生徒の割合は、35.6%であった。全国学力・学習状況調査においては、41.4%であり、いずれも目標の50%を上回らなかった。新型コロナウイルスの影響で、地域の行事が中止になっていることも要因と考えられる。引き続き、この項目に注目していく。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和3年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点については、現3年生は、3教科；107.8 → 106.5 → 102.2 5教科；108.1 → 102.5 であり、いずれも100を超えているが低下しており、目標を達成していない。
- 令和3年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合は、現3年生においては、17.1 → 18 であり、0.9ポイント増加しており、目標の「2ポイント減少」を達成していない。

○令和３年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を２割以上上回る生徒の割合は、現３年生においては、44.5 → 40 であり、4.5 ポイント減少しており、目標の「２ ポイント増加」を達成していない。

○校内アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合は、89.6%であった。全国学力・学習状況調査において肯定的に回答する生徒の割合は、86.4%であった。 → **校内アンケートでは目標（89.0%）を上回った。**

○令和３年度の体力調査において、前年度と２年生同士を比較して、上体おこし、50m走、特に男子は20mシャトルラン、女子は長座体前屈の平均の記録を、前年度より向上させる。

男子	シャトルラン	上体おこし	50m走
R 元	74.86 回	23.58 回	8.43 秒
R 2	67.53 回 ↓	実施せず	8.89 秒 ↓
R 3	74.23 回 ↑	25.40 回 ↑	8.3 秒 ↑
女子	長座体前屈	上体おこし	50m走
R 元	37.18 cm	21.56 回	9.03 秒
R 2	43.32cm ↑	実施せず	9.13 秒 ↓
R 3	41.06cm ↓	24.15 回 ↑	9.19 秒 ↓

→ 男子は、20mシャトルラン、上体おこし、50m走で昨年度の記録を **上回った**。

→ 女子は、上体おこしだけ昨年度の記録を **上回った**。

学校園の年度目標

①「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目について、「している」と答えた生徒の割合は、57.2%であった。全国学力・学習状況調査においては60%であった。 → **全国調査は目標（60%）を上回った。**

②「授業は分かりやすい」と答える生徒の割合は、96.2%であった。（１年；91.7%、２年；97.5%、３年；99.3%） → **３学年とも目標（85%）を上回った。**

③「ＩＣＴを活用した授業に取り組んでいる」と答える生徒の割合は、93.9%であった。（１年；85.7%、２年；99.2%、３年；97.9%）

→ **３学年とも目標（80%）を上回った。**

④「運動することが好き」の項目について、「当てはまる」と答える生徒の割合は、76.8%であった。（１年；82.7%、２年；73.6%、３年；75.0%）

→ **３学年とも目標（70%）を上回った。**

大阪市立八阪中学校 令和3年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○令和3年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 → 目標は達成できた。</p> <p>○令和3年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を90%以上にする。 → 目標(90%)を上回った。</p> <p>○令和3年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる → 目標は達成できた。</p> <p>○令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる → 前年度を少し上回っていた。</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>①令和3年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を75%以上にする。 → 目標(75%)を上回った。</p> <p>②令和3年度の校内アンケートで「読書をするのが好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を65%以上にする。 → 目標(65%)を上回った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響があるので、図書室利用生徒数; 2000人、貸出延べ冊数600冊を目標とする。 → 目標には届かなかった。</p> <p>③令和3年度の校内アンケートにおける「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を50%以上にする。 → 目標の50%を上回らなかった。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・きまりや規則を守らせることにより、生徒に規範意識を身に着けさせる。真面目に学校生活を送ることにより、将来にわたって生きていくための資質を身に着けさせる。() <hr/> <p>指標 ・令和3年度の校内アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を90%以上にする。 → 目標(90%)を上回った。</p>	A
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教職員が不登校生徒の状況を正確に把握し、組織的な体制を構築し、協力して指導にあたる。() <hr/> <p>指標 ・令和3年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 → 前年度を少し上回っていた。</p>	C
<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わが町、大阪」の歴史や文化についての学習をする機会を設け、大阪の良さを知らせ、自分たちの住んでいる地域やそこでの行事に関心を持たせる ・吹奏楽部が演奏する機会を企画し、自己有用感の育成と愛校心の育成を図る。生徒が感動し、共感する心を育てる。() <hr/> <p>指標 ・体育大会やプレゼン八阪をはじめ、吹奏楽部が校内・地域で演奏する機会を年間3回以上実施する。 → プレゼン八阪、クリスマスコンサート、定期演奏会（3月）の3回実施した。目標は達成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の校内アンケートにおける「居住している地域の行事に参加していますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を50%以上にする。 → 目標には届かなかった。 	B
<p>取組内容④【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の協力を得て、職業講話・職場体験学習を実施し、生涯にわたる勤労観や職業観を育成する。() <hr/> <p>指標 ・令和3年度の校内アンケートで「将来の進路や生き方について考える機会が多い」を肯定的に回答する生徒の割合を80%以上にする。 → 78.3%であり、目標には届かなかった。新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、職場体験学習は中止となった。</p>	C
<p>取組内容⑤【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館補助員と連携して、図書館の利用を促進し読書活動の充実を図る。() <hr/> <p>指標 ・令和3年度の図書室利用生徒数；2000人、貸出延べ冊数600冊を目標とする。 → 図書室利用生徒数；644人、貸出延べ冊数；227冊であり、目標の2000人、600冊には届かなかった。</p>	C

<p>取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校ホームページの充実を図り、学校行事や様々な学校の様子を配信し、「地域の中の学校づくり」を図る。 ・校内の花壇や緑化スペースの整備を行い、生徒の情操教育の充実を図るとともに地域・保護者の方々に「開かれた学校」を創造する。（ ） <hr/> <p>指標・令和3年度保護者アンケートで「ホームページを積極的に活用し、情報発信に努めていると思いますか」を肯定的に回答する保護者の割合を85%以上にする。</p> <p>→ 肯定的な回答は、前期；91.0%、後期；94.3%で、目標を上回った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の保護者アンケートで「学校が美しく、教育環境が整っていると思いますか」を肯定的に回答する保護者の割合を90%以上にする。 <p>→ 肯定的な回答は、前期；92.1%、後期；93.2%で、目標を上回った。</p>	A
---	---

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<ol style="list-style-type: none"> 1 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、延期になる行事や中止になる場合があった。これまで同様「やれることはやろう」という精神で、いろいろな工夫、感染防止策を講じた中で、実施できた行事もある。 2 メンターを中心に若手教員の研修会を実施した。身近な話題について、それぞれの考え、悩みを発表することで、相互理解が図れた。
次年度への改善点
<ol style="list-style-type: none"> 1 新型コロナウイルス感染症の学校行事への影響は次年度も続くことが予想される。時期をずらしたり、期間を短くするなどの対応で「できることはやる」という考え方に立って、引き続き取り組んでいく。 2 生徒たちは外見にはあらわさないが、心の内にはストレスを抱えているように思われる。その兆候を見逃さないように心がける。 3 今後も、学校ホームページや保護者メールなどを用いて、学校の情報発信を行っていく。 4 今年度の3学期から福島区の「学校活動支援ボランティア事業」で学生を配置してもらったが、次年度も引き続き、この事業を活用していく。（コロナ対応、不登校支援等） 5 新型コロナウイルス感染症の影響が、「地域の行事への参加」「図書室の利用生徒数、貸出延べ冊数」に大きくかかわっている。次年度からすぐに元のように戻るとは考えにくい、この視点を継続して着目していく。

大阪市立八阪中学校 令和 2 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標				達成 状況
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】				
全市共通目標（小・中学校）				
○令和３年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 → 目標を達成していない。				
○令和３年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均の７割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント減少させる。 → 目標を達成していない。				
○令和３年度の中学校チャレンジテストにおける得点が府平均を２割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より２ポイント増加させる。 → 目標を達成していない。				
○令和３年度の校内調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 → 校内アンケートでは目標（89.0％）を上回った。				
○令和３年度の体力調査において、前年度と２年生同士を比較して、上体おこし、50m走、特に男子は20mシャトルラン、女子は長座体前屈の平均の記録を、前年度より向上させる。				
→ 男子	シャトルラン	上体おこし	50m走	B
R元	74.86回	23.58回	8.43秒	
R2	67.53回	実施せず	8.89秒	
R3	74.23回↑	25.40回↑	8.3秒↑	
女子	長座体前屈	上体おこし	50m走	
R元	37.18cm	21.56回	9.03秒	
R2	43.32cm	実施せず	9.13秒	
R3	41.06cm↓	24.15回↑	9.19秒↓	
→ 男子は、20mシャトルラン、上体おこし、50m走で昨年度の記録を上回った。				
→ 女子は、上体おこしだけ昨年度の記録を上回った。				
学校園の年度目標				
①令和３年度の校内アンケートにおける「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を60％以上にする。 → 全国調査は目標（60％）を上回った。				
②令和３年度の校内アンケートで「授業は分かりやすい」と答える生徒の割合を3学年とも85％以上にする。 → 3学年とも目標（85％）を上回った。				
③令和３年度の校内アンケートで「ICTを活用した授業に取り組んでいる」と答える生徒の割合を3学年とも80％以上にする。 → 3学年とも目標（80％）を上回った。				

④令和３年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について、「当はまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 70%以上にする。 → 3 学年とも目標（70%）を上回った。	
--	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策５ 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学習に取り組める指導内容、指導方法を工夫し、自主学習習慣の定着につなげる。（ ） <p>指標 ・令和３年度の校内アンケートで「授業は分かりやすい」と答える生徒の割合を３学年とも 85%以上にする。 → 3 学年とも目標（85%）を上回った。</p>	A
<p>取組内容②【施策５ 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「５０分間集中した授業」が展開できるように、教員の協力体制の構築、教科指導力の向上及び、環境整備を行う。（ ） <p>指標 ・令和３年度の校内アンケートで「家で計画を立てて勉強をしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 60%以上にする。 → 全国調査は目標（60%）を上回った。</p>	A
<p>取組内容③【施策５ 子どもの一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の「授業力の向上」をめざして、教師集団の協力体制を構築する。（ ） <p>指標 ・全教員が、１回以上の公開授業を行い、１回以上の授業見学を行う。 → 2 学期までにお全教員が実施した。</p>	A
<p>取組内容④【施策６ 国際社会において生き抜く力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> プロジェクターやタブレットなどのＩＣＴ機器を有効に活用し、生徒が意欲的・主体的に取り組める教材の開発を図る。（ ） <p>指標 ・全教員がＩＣＴを活用した校内の公開授業を行い、授業時術の向上を図る。 ・令和３年度の校内アンケートにおいて「ＩＣＴを活用した授業に取り組んでいる」と答える生徒の割合を３学年とも 80%以上にする。 → 3 学年とも目標（80%）を上回った。</p>	A
<p>取組内容⑤【施策７ 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたり心身ともに健康で活力のある生活を送るために基礎体力の向上に向けた取り組みを推進する。 運動やスポーツに親しむ機会を確保するため、区役所と連携した取り組みを推進する。（ ） <p>指標 ・令和３年度の校内アンケートにおける「運動することが好き」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を３学年とも 70%以上にする。 → 3 学年とも目標（70%）を上回った。</p>	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>1 「50 分集中した授業」を行うことが、本校の基盤であるが、今年度は、対面した授業ができない時期、授業の形態が十分でなかった時期があった。その時に、本校の先生方の中から、I C T機器の活用する動きが出てきた。教務部のI C T担当だけでなく、いろいろな知識を持ち寄り、工夫をしたことが、同じような状況にならなくても、今後の教育活動に生かされると考える。</p> <p>2 学力向上のためには、教員の資質の向上が必要である。特に本校においては、教員も自らの技量を向上させる努力、意識が不可欠である。自ら進んで研修を行うことが求められている。今年度は、「主体的・対話的で深い学び」の全体研修が実施でき、今後の指導力向上のきっかけとなればと考えている。</p> <p>3 臨時休業中を終えて、体力が低下している生徒が多い。</p>
次年度への改善点
<p>1 今年度に行った、I C Tを活用した取り組みを来年度は、「教務部のI C T担当」ではなく、学校全体の組織として取り組んでいく。</p> <p>2 教員の研修、意識改革の機会を持てるようにする。教員の指導力の向上を図る。</p> <p>3 新型コロナウイルス感染症の感染防止を徹底し、学習活動を工夫していく。</p>